

Logitech Bluetoothバージョン2.1+EDR対応

音楽 / 通話対応 Bluetooth オーディオレシーバー

LBT-AVAR120 シリーズ / LBT-MPAR120 シリーズ
LBT-KTAR120 シリーズ **取扱説明書 VO1**

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書は、Bluetoothオーディオレシーバーの使用方法や、安全にお取り扱いいただくための注意事項などを記載しています。本書の内容を十分にご理解いただいた上で本製品をお使いください。また、本書は、いつでも読むことができる場所に大切に保管しておいてください。

この取扱説明書では、特に断りのないかぎり製品名を代表して「LBT-AR120」と表記しています。動作は共通です。

製品の特長

- 本製品は、Bluetoothオーディオレシーバーです。お手持ちのイヤフォンを本製品に接続いただくことで、Bluetoothに対応したスマートフォン、携帯電話及びオーディオプレーヤーの音楽をワイヤレスでお楽しみいただけます。また、マイクも搭載しており、スマートフォンや携帯電話でのハンズフリー通話も可能です。「Bluetooth2.1+EDR」に対応しており、同規格に対応した機器と簡単にペアリング操作を行うことができます。
- 低消費電力設計により、一回の充電で約6時間の音楽再生/通話、最大約200時間の待機時間を実現します。
 - 付属のケーブルを用いて充電します。パソコンやUSB-ACアダプタのUSB電源から充電することができます。
 - AVRCPプロトコルに対応し、本製品と接続したスマートフォン/オーディオ機器の音量調整、一時停止/再開などを制御することができます。

本製品は、Bluetoothで接続機器と接続します。ご使用になる前に、接続機器(スマートフォン/オーディオ)とペアリング操作によって登録を行う必要があります。

接続のときに必要な情報です。

- 携帯電話やパソコンから検索するときの本製品の名称(デバイス名)
→ **LBT-AR120**
- パスキー
→ **0000 (ゼロ四つ)**

※ パスキーは、Bluetooth2.0以下の規格の機器と接続する場合に必要です。

パッケージ内容の確認

- 本製品のパッケージには以下のものが含まれています。お使いになる前にパッケージの内容を確認してください。
- オーディオレシーバー本体 1台
 - USB充電ケーブル 1本
 - 取扱説明書(保証書付) (本書です) 1枚
 - 簡単接続ガイド 1枚

重要なご注意

付属のUSB充電ケーブルは、本製品専用です。本製品の充電以外には利用しないでください。コネクタ形状が同じでも、電極や出力が異なることがあり、故障の原因となります。同様に、他の製品に付属の充電ケーブルで本製品を充電しないでください。

各部の名称とはたらき

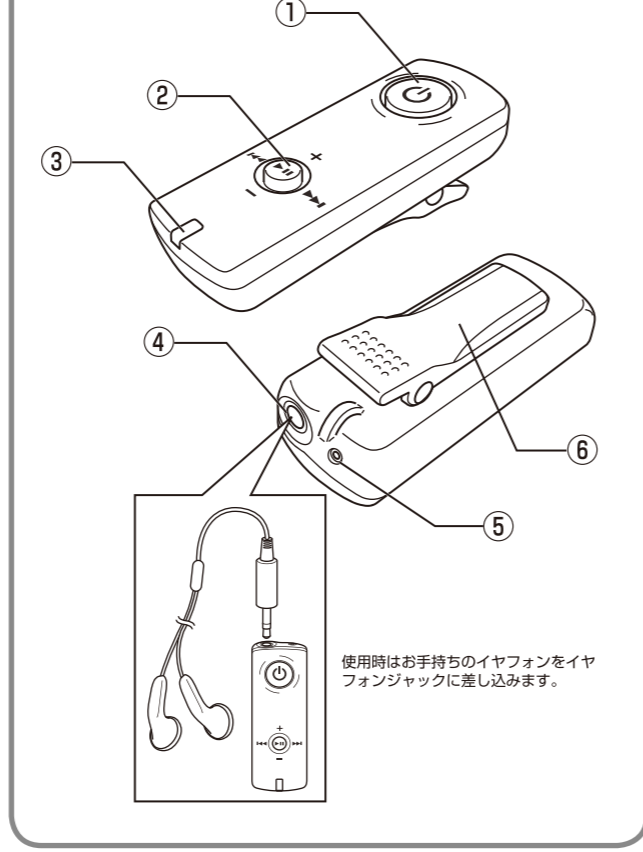
① マルチファンクションボタン	電源のオン/オフなど、次の機能を持つボタンです。 電源ON / ペアリング ■ ペアリング済みの機器が周辺にない場合 電源がOFFの状態から8秒以上長押ししてください。紫、赤と一回点滅から、赤色と青色の交互の点滅になり、ペアリングモード(携帯電話等から検索できる状態)になります。 ■ ペアリング済みの機器が周辺にある場合 電源OFFの状態から4秒以上長押しするとLEDランプが紫、赤と一回点滅し、ペアリング済みの機器との接続を試行します。ペアリング済みの機器が見つからない場合は、約5分後にLEDランプが紫色に点滅した後に自動的に電源がOFFになります。 ■ 携帯電話などの機器と接続に成功した場合 LEDが5秒毎に1回の赤点滅から、5秒毎に2回の青点滅に変わります。
② 音量調整ボタン/再生/一時停止ボタン	電源がONのときに4秒以上長押しすると、LEDランプが紫色に点滅したあと、電源がOFFになります。 音量を大きくするときには+側倒します。音量を小さくするときには-側倒します。 音楽再生中、もしくは一時停止中に▶▶側倒すと曲送り、◀◀側倒すと曲戻しになります。 音楽再生中に▶▶側倒に2秒以上倒すと早送り、◀◀側倒に2秒以上倒すと早戻しになります。 ボタンを押すと、再生中の音楽を一時停止/再生します。AVRCP対応機器とペアリングして使用する場合は、ペアリング先の音楽も一時停止します。非対応機器の場合は、音声のみミュートされるだけで、音楽の再生は継続します。
③ LEDランプ	電源やペアリングの状態を示すLEDランプです。 ランプの表示と本製品の状態については、機能一覧表を参照ください。
④ イヤフォンジャック	使用時は、お手持ちのステレオイヤフォンを差し込みます。 充電時は、付属の専用USB充電ケーブルのピン側を本体に差し込み、もう一方(USB Aタイプ)をパソコン又はACアダプタに接続します。
⑤ マイク	ハンズフリープロファイル/ヘッドセットプロファイルで接続時に、通話するためのマイクです。
⑥ クリップ	襟元や、胸ポケットなどに挟んで固定します。

取り扱い上の注意

■ **正しく安全にお使いいただくために**
本製品を正しく安全にお使いいただくために、以下の重要な注意事項を必ずお守りください。

- **警告** ここに記載された事項を無視すると、使用者が死亡または障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。
 - **車の運転中には使用しないでください。**
車の運転中にはヘッドセットを使用しないでください。また、歩行中でも、駅のホームや交差点、工事現場などでは本製品の使用を中止し、周囲の状況をよくご確認ください。
 - **万一、異常が発生したときは、**
本製品から異音や煙が出たときは、ただちに使用を中止し、電源を切り、充電中の場合は、付属のUSB充電ケーブルをパソコンまたはUSB ACアダプタなどのUSB電源から抜いてください。その後は本製品をご使用にならず、販売店にご相談ください。
 - **高温のまま放置しないでください。**
本製品は精密な電子機器です。高温、多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。
 - **車の中には絶対に放置しないでください。**
本製品を高温の車内に長時間放置しておくと、内部電池の破裂・発火・故障の原因となり大変危険です。
 - **充電には付属の充電機器以外使用しないでください。**
本製品は内部電源にリチウムイオン充電電池を使用しています。この電池は扱いを誤ると発火の危険性があります。本製品の充電には、付属の充電器または付属のUSB充電ケーブル以外は使用しないでください。異なるものを使用すると、発火・故障の原因となりますので、絶対におやめください。
 - **充電が終わったら、必ず充電ケーブルを取り外してください。また、必要な充電時間を終えても充電が完了しない場合も、いったん充電を終わってから充電ケーブルを取り外してください。**
所定の充電時間を超えて充電をおこなった場合、内部電池が発熱・発火・破裂する危険性があります。また、電池寿命に影響を与える場合があります。
 - **着信音量の設定には十分気をつけてください。**
携帯電話とペアリングして使用しているときに、着信音に驚いて事故の原因となり、心臓に影響を与える恐れがあります。
 - **分解しないでください。**
本書の指示に従って行う作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。
- **接続に使用するコードを傷つけないでください。**
火災や断線の原因となります。
- **病院内や航空機の中などでは使用しないでください。**
高度な安全を要求される場所では絶対に使用しないでください。特定医療機関や航空機の計器類などの誤動作の原因になります。
- **注意** ここに記載された事項を無視すると、けがをしたり、物的損害を受ける恐れがある事項です。
 - **水気が多い場所での使用 / 保管は行わないでください。**
本製品内部に液体が入ると、故障、火災、感電の原因となります。
 - **小さなお子様の手の届くところに保管しないでください。**
誤飲など思わぬ事故を招く場合があります。
 - **本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所などでの使用・保管は避けてください。**
 - **車載機器と電波干渉が起こる場合は使用しないでください。**
ご使用のお車により、まれに車載機器との間で電波干渉が起こる場合があります。そのような場合は、本製品の使用を中止してください。
 - **充電中は、本製品およびUSB充電ケーブルの周りに物を置かないでください。**
発熱、発火、火災、やけどの原因となります。
 - **ご使用の際は、接続機器の取扱説明書の指示に従ってください。**
本製品は、パソコンや携帯電話などと無線通信による使用が可能ですが、接続先の機器により設定方法や注意事項が異なります。ご使用の際はこれらの機器の取扱説明書をよく読み、注意事項に従ってください。
 - **定期的に充電をおこなってください。**
本製品を長期間使用しない場合でも、1ヶ月に一度を目安に充電をおこなってください。
 - **日本国以外では使用しないでください。**
この装置は日本国内専用です。他国には独自の安全規格が定められており、この装置が規格に適合することは保証いたしかねます。また、海外からのお問い合わせに関しても一切応じかねますのでご注意ください。

各部の名称とはたらき



基本仕様

製品仕様	LBT-AVAR120シリーズ、LBT-MPAR120シリーズ、LBT-KTAR120シリーズ	
キャリア周波数	2.400 ~ 2.480GHz	
Bluetooth仕様	Bluetooth 2.1+EDR	
周波数拡散方式	FHSS (Frequency Hopping Spread Spectrum) Class2	
伝送距離	Class 2 最大半径 10m (障害物なきこと) *1	
対応プロファイル	A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) *2、AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) *2、HSP (Headset Profile)、HFP (Handsfree Profile) *2	
SCMS-T	対応	
記憶可能なペアリング台数	8台	
連続待受時間	最大200時間 *3	
音楽再生 / 通話時間	約6時間 *3	
環境条件	動作時	温度 0 ~ 35℃ 相対湿度 20 ~ 80% (ただし、結露なきこと)
	保管時	温度 -10 ~ +50℃ 相対湿度 10 ~ 90% (ただし、結露なきこと)
入力電圧	DC 5V (USB充電ケーブルから給電)	
バッテリータイプ	リチウムポリマー電池	
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	21 × 13 × 55 mm (突起部分のぞく)	
質量	約13 g	

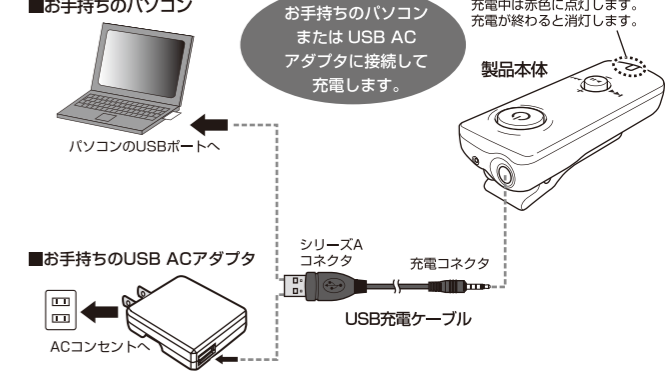
- *1 理論値です。また、距離は、通信対象のBluetooth機器の性能や、周囲の環境に依存して変化します。
 - *2 一台で音楽ファイルと通話ファイルを同時に使用している場合、別の機器との接続はできません。
 - *3 通話対象のBluetooth機器との距離が長い場合は、それぞれの消費電力が増加するため、時間が短くなる場合があります。
- 2.4GHz帯を使用する無線LAN (IEEE802.11g/b/n)との併用は、電波干渉の発生により、利用できないことがあります。
● 本製品に対して、すべてのBluetooth機器の動作を保証するものではありません。

STEP 1 充電します

本製品は、ご使用の前に充電をしておく必要があります。充電は、付属のUSBケーブルとパソコンやUSB ACアダプタなどのUSB電源を接続して行います。

● 充電が完了するまで、約2時間かかります。2時間経過してもLEDランプが消灯しない場合は、充電ケーブルを取り外し、いったん充電を取りやめてください。2時間を越えて充電を続けると、電池寿命が短くなったり、故障の原因となります。

【充電時の接続】



- 1 付属のUSB充電ケーブルを、製品本体のイヤフォンジャックに接続します。
- 2 USB充電ケーブルのUSB Aコネクタを、パソコンや、USB ACアダプタなどのUSB電源のUSBポートに接続します。
- 3 パソコンの電源が入っていない場合は、電源を入れます。
● LEDランプが赤色に点灯し、充電が始まります。充電が完了すると、消灯します。

裏面に続く

STEP 2 ペアリングします（機器の登録）

本製品をお手持ちの携帯型オーディオプレーヤーや携帯電話で使用するためには、ご使用になる機器とペアリング（機器を初期登録する作業）をおこなう必要があります。ご使用になる機器側の操作については、お手持ちの機器の取扱説明書をお読みください。

- ペアリング情報は、8つまで記憶できます。8つ以上登録した場合は、古い情報から順番に削除されます。削除された機器と再接続する場合は、再度ペアリングが必要です。
- 携帯電話をオーディオプレーヤーとして本製品に接続する場合は、携帯電話がBluetoothのオーディオプロファイル(A2DP)に対応している必要があります。
- ペアリング先の機器の設定状態などの原因でペアリングが完了しない場合は、いったん電源を切ってやり直してください。
- 本製品は「Bluetooth 2.1+EDR」に準拠しています。対応機器と接続する場合は、バスキーマスの入力を省略できます。

1 本製品の電源がOFFの状態、本製品のマルチファンクションボタンを、LEDランプが赤と青の点滅に変わるまで8秒以上押し続けます。ボタンを押し続けている8秒間に、LEDランプの表示は次のように変わります。

紫、赤と一回点滅 (電源 ON)	→	赤青点滅 (ペアリングモード)
----------------------------	---	---------------------------

すでにペアリング済みの機器が周囲にある場合は、電源がオンになった時点でボタンから手を離してくださいませぬ。その機器と自動的に再接続します。

2 ペアリングしたい機器（携帯電話や携帯型オーディオプレーヤ）から、本製品を検索します。

- 検索方法はご使用の機器によって異なります。ご使用の機器の取扱説明書などを参照してください。

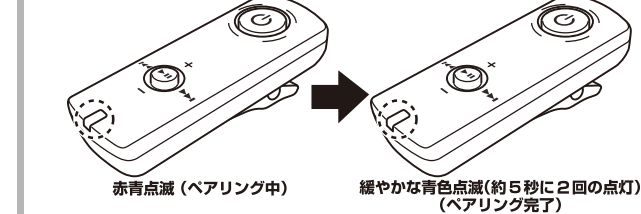
3 携帯電話や携帯型オーディオプレーヤから本製品が見つかると、デバイス名「LBT-AR120」が検索画面上に表示されますので、選択して登録します。

- 携帯電話と組み合わせて使用する場合は、携帯電話の機能を本製品で使用できるように、ハンズフリープロファイル(HFP)でペアリングすることをお勧めします。ハンズフリープロファイルがない場合は、ヘッドセットプロファイル(HSP)でペアリングしてください。
- 携帯電話をオーディオプレーヤーとして本製品に接続する場合は、オーディオプロファイル(A2DP)を含めてペアリングしてください。

4 バスキーマスの入力を促すメッセージが表示されたら、「0000」（ゼロ4つ）と入力します。これで登録作業は完了です。

- 機器によっては(Bluetooth 2.1対応機器)、バスキーマスを入力しなくても登録が完了する場合があります。

ペアリングが完了すると、LEDランプがゆるやかな青色の点滅に変わります。（約5秒に2回の点灯）



5 機器によって、ペアリング後に「接続」操作が必要な場合があります。お手持ちの機器の取扱説明書をお読みになり、「接続」操作をおこなってください。

STEP 3 基本操作

電源のオン／オフ

■電源ON

本製品のマルチファンクションボタンを、LEDが紫、赤と一回点滅するまで(約4秒)長押しします。すでにペアリング済みの機器が近くにある場合、自動的にその機器に接続を試みます。再接続されない場合、携帯電話等接続先の機器の設定を確認し、携帯電話側から接続操作を試みてください。これで再接続されない場合は、再度ペアリングが必要です。ペアリング相手が見つからない場合は、赤色に点滅します。

携帯電話より「LBT-AR120からの接続を許可する」操作や、「接続」操作が必要な場合があります。

■電源OFF

本製品のマルチファンクションボタンを4秒以上長押しします。LEDランプが紫色に点滅したあと、消灯して電源が切れます。

オートパワーオフ機能について
携帯電話の電源を切るなど、接続中の機器からの送信が途切れた場合や、電源をONにしたあと、ペアリング相手がいない場合、約5分後にLEDが紫色に点滅した後に電源がOFFになります。 <p>※電源がONの間は、LEDランプがゆるやかな点滅を続けます。</p>

音楽を聴く

■ボリューム調整

本製品の音量調整ボタンでおこないます。＋側に倒すと、ボリュームが上がリ、－側に倒すとボリュームが下がります。本製品の音量を最大にしても希望の音量が得られない場合は、ペアリングした機器の音量を調整してください。

■一時停止／ミュート

本製品の再生／一時停止ボタンで行います。再生中に再生／一時停止ボタンを押すと、再生中の音楽を一時停止、もしくは、ミュートします。「AVRCPプロファイル」に対応した機器とペアリングしている場合は、接続先の音楽も一時停止します。非対応機器の場合は、音声がミュートします。

■曲送り(▶▶) / 曲戻し(◀◀)※

曲送り/曲戻しは本製品の音量調整ボタンで行います。音楽再生中、もしくは一時停止中にボタンを▶▶側に倒すと曲送り、◀◀側に倒すと曲戻しになります。

※ 接続先の機器により機能しない場合があります。

携帯電話などで通話する

本製品のマイクは本体上部に搭載されています。

!	<ul style="list-style-type: none">●以下に説明する機能は、ヘッドセットプロファイル(HSP)およびハンズフリープロファイル(HFP)でペアリングしたときのみ利用できます。 ●携帯電話の仕様によっては、以下に説明する本製品の操作に対する携帯電話の動作が異なることがあります。
----------	--

■電話を受ける

イヤフォンから着信音が聞こえたら、マルチファンクションボタンを押します。

携帯電話の仕様上、Bluetooth ヘッドセットに着信メロディは設定できない場合があります。

■発信する

任意の相手先に発信する場合は、ご使用の携帯電話側で発信操作を行い、その後出力先の切り替えを行います。

- iPhone 4の例
発信後→音声出力先に本製品(LBT-AR120)を選択。
- docomoの一例
発信後に、「通話」ボタンを長押しします。
- auの一例
携帯電話側で発信操作後、携帯電話の「EZ」ボタンを押します。

※出力先切り替え方法についてはご使用の携帯電話の取扱説明書をご参照ください。

■電話を切る

通話状態で、マルチファンクションボタンを1回押します。

パソコンで音声チャットする

パソコンで音声チャットする場合は、パソコン側で通話開始／終了の操作をします。音声チャットの開始／終了および設定方法は、ご使用のソフトウェアやOSにより異なります。詳細はご使用のソフトウェアまたはOSのマニュアルやオンラインヘルプをお読みください。

機能一覧表		
機能・状態	操作	LED表示
電源 ON	電源が OFF の時にマルチファンクションボタンを約 4 秒長押し	紫、赤と一回点滅
電源 OFF	電源が ON の時にマルチファンクションボタンを約 4 秒長押し	紫色に点滅
充電中	-	赤色に点灯
充電完了	-	消灯
バッテリー容量不足	-	30 秒間隔で赤色 LED が 3 回点滅
ペアリングモード	電源 OFF の時にマルチファンクションボタンを 8 秒以上長押し	赤色と青色交互に点灯
音量調整	音量調整ボタンを＋側または－側に倒す	-
一時停止 / ミュート	再生 / 一時停止ボタンを一度押す	-
曲送り / 曲戻し	音量調整ボタンを▶▶側または◀◀側に倒す	-
早送り / 早戻し	音量調整ボタンを▶▶側または◀◀側に 2 秒以上倒す	-
電話を受ける	マルチファンクションボタンを短く一度押す	-
着信を拒否する	マルチファンクションボタンを 2 秒以上長押し	赤、紫と点滅後に消灯
電話を切る	マルチファンクションボタンを短く一度押す	-
リダイヤルする	マルチファンクションボタンを 2 回押す	紫色で一回点滅

困ったときは…

■携帯電話で通話の音声が聞こえない

一部の携帯電話では、通話中に約20秒以上の無音状態が続いた場合に、自動的に省電力モードになり、イヤホンジャックの音声入出力がオフになります。そのため、通話中でも音声が聞こえなくなることがあります。このような場合は、本製品のマルチファンクションボタンを押して、携帯電話の省電力モードを解除してください。

■本製品の電源が入らない。

本製品のバッテリーが充電されているかどうかを確認してください。バッテリーが充電されていない場合は、バッテリーを充電してください。

■ノイズやエコー音が入る

ペアリング相手との距離を変えてみる。音量を調節してみるなどをお試しください。

■携帯電話の着信時にマルチファンクションボタンを押しても通話できない

一部の携帯電話では、着信時に本製品のマルチファンクションボタンを数回押さないと通話を開始できない場合があります。マルチファンクションボタンを1回だけ押ししても通話できないときは、数回押ししてみてください。

■通話相手に自分の声が聞こえない

一部の携帯電話では、イヤフォンのマイク入力が有効になるように、手動で設定する必要がある機種があります。マイク入力が無効になっていると、ヘッドセットのマイクからの音声が通話相手に聞こえません。

■着信前に留守番転送されてしまう

着信から留守番電話サービスに転送するまでの時間が短く設定されていると、本製品に音声が転送される前に留守番転送されてしまいます。このような場合は、留守番電話サービスへの転送時間を長めに設定してください。

■オーディオファイルの音声が聞こえない

ファイルやWebサイトによってはBluetoothでのオーディオ再生をサポートしていない場合があります。オーディオファイルをダウンロードしたサイトにお問い合わせください。

■Bluetooth搭載機器とペアリングできない

- 機器側のBluetooth機能が使用可能な状態であることを確認してください。ペアリングモードが時間切れのため終わっている場合は、再度設定する必要があります。
- ご使用の機器が本製品のプロファイルに対応しているかを確認してください。

■携帯電話でワンセグ以外の動画音声が聞こえない

携帯電話の仕様により、ダウンロードしたプロモーションビデオ等の音声はBluetoothでは視聴できない場合があります。

■発信時にヘッドセットが使えない。

携帯電話が発信した場合、スピーカ/マイクを本体からBluetoothヘッドセットへ切り替え操作が必要です。操作方法は、携帯電話の説明書をお読みください。

- 【一般的な操作】
 - iPhone4の例 ⇒ 発信後→音声出力先に本製品(LBT-AR120)を選択。
 - docomoの一例 ⇒ 発信後に、「通話」ボタンを長押しします。
 - auの一例 ⇒ 発信後、「EZ」ボタンを押します。

■自分の声が小さい

- コントロールボックスのマイクの位置を微調整してみてください。
- 携帯電話等、出力先の機器のマイクレベルを調整してみてください。

■他の携帯電話で利用後、ペアリングが必要になった

携帯電話、その他機器によっては、ペアリング済みのヘッドセットでも他の携帯電話で利用後は、再度ペアリングからやり直す必要がある場合があります。

■携帯電話でダウンロードしたPVの音声が聞こえない

デジタル著作権保護のため、デジタル対応のBluetoothヘッドセットでは再生できません。

サポート修理受付窓口のご案内

■製品に関するお問い合わせ

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、国外での使用、国外からの問い合わせにはサポートをおこなっておりません。This product is for domestic use only. No technical support is available in foreign languages otherthan Japanese.よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修理依頼書、付属品購入窓口などをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

サポートページ	6409.jp ("http:" は必要ありません)
----------------	-----------------------------------

テクニカルサポート（ナビダイヤル）
0570 - 022 - 022
月～土（祝日営業）10:00-19:00 ※夏期、年末年始、特定休業日を除く

お問合せの前に、以下の内容をご用意ください。

- ・弊社製品の型番
- ・ご利用の携帯電話、iPod、ゲーム機などの型番
- ・ご質問内容（症状、やりたいこと、お困りのこと）

※可能なかぎり、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

■修理について

製品保証は、日本国内においてのみ有効です。国外からの修理依頼は、保証期間の有無を問わず対応いたしません。

This warranty is valid only in Japan.

製品本体、ACアダプタ以外の付属品*は、保証対象ではありません。

付属品問い合わせ窓口へメールにてご相談ください。

http://www.logitec.co.jp/pro/fuzoku.html

*付属品の例：イヤーフック、イヤークャップ、イヤホン、ケーブル類、スタンドなど
依頼の手順、修理依頼書（PDF ファイル）をインターネットへ掲載しております。また、修理終息製品の検索も可能です。ご利用が可能であればご確認ください。

http://www.logitec.co.jp/support/service.html

修理は、修理センターへお送りいただいた依頼品を修理（製品交換の場合あり）してご返却します。保証期間中の修理については、保証規定に従い修理します。保証期間の有無が確認できない場合、保証期間を超えた修理については有料となります。ただし、生産終了後の経過期間によっては修理できない（修理終息）場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■修理ご依頼時の確認事項

- ・修理期間中の貸出機、代替機はありません。
- ・保証期間の有無にかかわらず、ご送付いただく際の送料はお客様負担となります。
- ・輸送中の紛失、破損に関して弊社では責任を負いかねます。梱包材を用いて梱包し、必ず発送の控えが残る宅配便にてご送付いただき、依頼品がお手元に戻るまで発送の控えは大切に保管してください。
- ・保証期間内の修理を依頼される場合は、ご購入年月日の確認できる販売店印のある保証書、保証書シール、レシートを添付してください。
- ・依頼品には、お客様の氏名、連絡先（ご住所 / 電話番号）、故障の状態を書面にて添付してください。

■修理依頼先

〒396-0111 長野県伊那市ますみす六道原 8268
ロジテック株式会社
3 番窓口 エレコムグループ修理センター
TEL：0265-74-1423 FAX：0265-74-1403

- 電話受付時間月～金 9:00～12:00、13:00～17:00
※祝日、夏期、年末年始、特定休業日を除く

製品に関する技術的なお問い合わせや、修理が必要かどうかのお問合せについては、テクニカルサポートへお願いします。

Bluetooth および Bluetooth ロゴは米国 Bluetooth SIG,Inc. の商標です。そのほか、この取扱説明書に掲載されている商品名 / 社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における ® および TM は省略しています。
--

Bluetooth オーディオレシーバー（取扱説明書（LBT-AVAR120 シリーズ /LBT-MPAR120 シリーズ /LBT-KTAR120 シリーズ用）2011年1月 第1版

ロジテック株式会社

© 2011 LOGITEC CORPORATION All rights reserved.

右上に続く

右上に続く

右上に続く